

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	当院における前立腺生検方法の妥当性に関する単施設後方視的研究 B23-106
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部泌尿器科学 講師 高口 大
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	前立腺生検後の急性細菌性前立腺炎はしばしば敗血症を来すため、その予防策を講じる事は極めて重要である。当院では生検前に便培養検査を実施し、その結果をもとに予防投与の抗菌薬を選択している。今回こうした有効性を検証すべく、当院で施行された前立腺生検に関するデータを抽出し、更に他院での生検後経過と比較することで、更なる生検マネジメントにつながる事を期待して本研究を計画し、また生検方法の妥当性についても本研究において検討した。
調査データ 該当期間	当院において 2000 年 4 月 1 日から病院長の許可日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に前立腺癌に対する診断目的に前立腺生検を受けた方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報  2000 年 4 月 1 日から病院長の許可日までに泌尿器科病棟、泌尿器科外来もしくは中央手術室で前立腺癌診断目的に前立腺生検を受けた患者の血液、画像検査データ、細菌学的検査データ、生検情報、生検後の症状および所見に関して紙カルテもしくは電子カルテ上にある情報を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報より氏名や住所、生年月日等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果については学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、泌尿器科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としません

	<p>ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p><b>所属・職位：医学部泌尿器科学 講師</b></p> <p><b>担 当 者：高口 大（フリガナ）コウグチ ダイ</b></p> <p><b>電 話：042-778-9091</b></p>
備 考	